

競 技 注 意 事 項

- 1 この大会は2015年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定によって競技をおこなう。
スタートはイングリッシュコマンド、不正スタート1回失格をとする。
- 2 招集は次の通りとする。招集場(雨天練習場)では、係りの指示に従うこと。
点 呼 ……招集開始時刻に招集場で競技者係の点呼を受け、その際ナンバーカード・
スパイクシューズの点検を受ける。

トラック競技は競技開始25分～15分前

フィールド競技は競技開始40分～30分前

(注) 2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の招集点呼を受けられない場合はあらかじめ競技者係に多種目同時出場届を提出して確認してもらい、指示を受けること。
点呼を受けないものは棄権するものとみなし出場を認めない。

- 3 リレーのオーダー用紙の提出は、次の通りとする。
各種目の第1組の招集完了時刻の2時間前～1時間前までに競技者係に提出する。
リレーオーダー用紙はプログラム最終ページのものを使用すること。
- 4 プログラム記載の氏名、ナンバー等に誤りがあれば、総務に申し出ること。
- 5 ナンバーカードは胸部・背部に確実につけること。その際ナンバーカードの大きさは変えないこと。
ただし、跳躍競技に参加する競技者は胸部・背部のいずれか一方でもよい。
また、1500m、3000mSCの出場者には腰ナンバー、3000m、5000m、競歩の出場者には別ナンバー、腰ナンバーを渡す。フィニッシュ後は必ずして、フィニッシュ地点で係員に返却すること。
- 6 800m以下のトラック種目の出場者(リレーは最終走者)においてはプログラム記載のレーン番号を確認し、各自が腰ナンバーを準備すること。腰ナンバーは右腰やや後方に確実に付けること。
- 7 800m以上のトラック種目は、フィニッシュ後、着順判定の必要上、競技役員の指示に従うこと。
- 8 スターティングブロックは競技場備え付けのものを使用すること。
- 9 やりは各自持参のものを検査をうけて使用してもよい。検査は第1コーナーの用器具庫で行う。
(検査時間は 男子9:15～9:25 女子12:30～12:40の間とする。)
- 10 走高・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。(天候等、審判員の判断で変更するときがある。)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	以降3cmずつ
女子	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	以降3cmずつ
棒高跳	2.40	2.60	2.80	3.00	3.20	3.30	3.40	3.50	以降10cmずつ

- 11 男女走幅跳は2ピットを使用し、2組に分けて競技する。
- 12 競技場は全天候性であるから9mm以下の全天候性用のスパイクピンを使用すること。
(ただし、走高跳、やり投は12mm以下とする。)
- 13 競技服装は、ランニングシャツ・パンツを使用すること。(Tシャツは認めない。)
- 14 ①各校より補助員を2名出すこと。補助員は8時00分に本部前に集まり、指示を受けてから
任務へ就くこと。
②荷物は盗難にあわないように、各自、各校で責任を持って管理すること。
③各校でビニール袋を持参し、出したゴミは責任をもってかたづけること。
④清掃当番校は競技終了後、本部前に集合し指示を受けること。